



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月15日

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 2453 URL <http://www.jbr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 榎原 暢宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 鈴木 良夫

TEL 052-883-0850

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日

平成24年6月18日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	3,752	△3.7	398	3.2	383	9.0	190	88.3
23年9月期第2四半期	3,897	16.5	386	39.4	352	25.9	101	△52.1

(注)包括利益 24年9月期第2四半期 207百万円 (134.3%) 23年9月期第2四半期 88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	2,984.38	—
23年9月期第2四半期	1,501.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第2四半期	8,803	2,788	31.5	43,766.34
23年9月期	8,957	2,836	31.0	42,429.47

(参考)自己資本 24年9月期第2四半期 2,770百万円 23年9月期 2,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	500.00	—	1,000.00	1,500.00
24年9月期	—	500.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,867	9.1	525	△17.3	450	△22.7	237	△44.9	3,725.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	68,858 株	23年9月期	68,858 株
24年9月期2Q	5,547 株	23年9月期	3,443 株
24年9月期2Q	63,987 株	23年9月期2Q	67,545 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は四半期決算短信[添付資料]P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要や、米国向け輸出の回復を背景とする生産の増加等が一部にみられたものの、原発事故による懸念が山積するなかで、欧州の政府債務危機による信用収縮、円高の長期化や原油価格の上昇等も加わり、依然として厳しい状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける」という経営理念に基づき、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は3,752,889千円（前年同期比3.7%減）、営業利益は398,876千円（前年同期比3.2%増）となり、自動車賃貸事業における大口賃貸先の契約違反に伴う解約により売却した賃貸車両の回収不能見込み額61,921千円を貸倒引当金繰入額として営業外費用に計上しておりますが、違約金収入75,087千円を営業外収益に計上したため、経常利益は383,576千円（前年同期比9.0%増）となり、四半期純利益は190,961千円（前年同期比88.3%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス11千件、水まわり関連サービス25千件、カギの交換関連サービス33千件です。生活会員（ライフデポ会員を除く）は新規入会会員129千人、継続会員16千人、合計146千人です。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コールセンター事業

コールセンター事業におきましては、中小競合企業のWeb広告の攻勢等の影響によって入電件数が低下したことにより、カギ、パソコン等の受注件数は若干減少しておりますが、住宅補修に伸びがみられ、入電件数に対する成約率が全般的に向上したことによって、コールセンター事業全体の売上高は微減に留まりました。

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、カギ部門（自動車、バイクのカギを含む）の売上高が220,267千円（前年同期比9.4%減）、パソコン部門の売上高が44,929千円（前年同期比10.2%減）となりましたが、リフォームの売上高が23,950千円（前年同期比75.1%増）となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、329,995千円（前年同期比6.2%減）となり、集客のための広告宣伝活動を積極的に展開したことにより、営業利益は99,720千円（前年同期比29.5%減）となりました。

② 会員事業

会員事業におきましては、賃貸住宅入居者向け「安心入居サポート」会員が、提携企業の販売拡大により、引き続き順調に伸長しております。

当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、「安心入居サポート」会員の売上高が746,866千円（前年同期比30.5%増）、「学生110番」会員の売上高が62,848千円（前年同期比19.8%増）、「ライフサポートバック」会員等の売上高が274,905千円（前年同期比6.7%減）となりました。

なお、平成23年4月1日付けで、会社分割によりバイク関連子会社（バイク会員事業）等の株式を譲渡した結果、前第2四半期累計期間に計上しておりましたバイク会員事業の売上は、当第2四半期連結累計期間には計上ございません。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,161,996千円（前年同期比22.0%減）となりましたが、「安心入居サポート」会員の収益が貢献し、営業利益は350,272千円（前年同期比44.7%増）となりました。

③ 企業提携事業

水の救急車事業におきましては、競争の激化等があるものの、ほぼ前年同期並みの業績となっております。

旭硝子ガラスの救急車事業におきましては、住宅エコポイント利用による窓関連リフォームの需要があったものの、中小競合企業の巻き返しによる緊急割れ換えの減少等により、前年同期を下回っております。

コールセンター受託事業では、バイク会員事業の譲渡に連動してバイク関連作業の売上高が減少し、前年同期の売上高を下回っておりますが、コールセンター受託企業数は引き続き増加し176社となっております。

企業提携事業におきましては、水の救急車事業の売上高が936,671千円（前年同期比2.2%減）、旭硝子ガラスの救急車事業の売上高が387,050千円（前年同期比9.0%減）、セコムウィン事業の売上高が39,390千円（前年同期比25.2%減）、コールセンター受託事業の売上高が317,683千円（前年同期比36.1%減）となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,680,795千円（前年同期比13.0%減）となり、営業利益は114,389千円（前年同期比49.0%減）となりました。

④ 加盟店事業

加盟店事業におきましては、Web広告の拡充に伴い、タウンページ広告の出稿量を圧縮したことにより、プロモーション業務による加盟店への売上高が、62,037千円（前年同期比29.6%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は84,781千円（前年同期比22.5%減）となりましたが、タウンページに係る広告宣伝費の圧縮により、営業損失は155,597千円（前年同期は営業損失206,639千円）となりました。

なお、加盟店数は422拠点、協力店数は1,004拠点となっております。

⑤ 少額短期保険事業

少額短期保険事業におきましては、賃貸住宅の家財を補償する「新すまいRoom保険」が順調に伸びていることにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は487,421千円（前年同期比37.4%増）となり、営業利益は103,350千円（前年同期比2.8%減）となりました。

⑥ 自動車賃貸事業

自動車賃貸事業におきましては、当第2四半期連結累計期間における売上高は137,536千円（前年同期比85.6%増）となり、営業利益は13,871千円（前年同期比159.0%増）となりました。

⑦ その他の事業

その他の事業におきましては、「シンプルセキュリティ」の当第2四半期連結累計期間における売上高は1,366千円（前年同期比28.6%減）となり、営業損失は210千円（前年同期は営業損失120千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ319,735千円増加し、6,896,643千円となりました。これらは主に、現金及び預金が278,512千円減少したものの、未収入金が451,839千円、売掛金が214,444千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ454,964千円減少し、1,672,258千円となりました。これらは主に、有形固定資産が478,805千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ245,597千円増加し、3,768,368千円となりました。これは主に、未払法人税等が192,162千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が341,800千円、買掛金が62,306千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ351,578千円減少し、2,246,623千円となりました。これは主に、長期借入金が390,565千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ47,837千円減少し、2,788,971千円となりました。これは主に、利益剰余金が125,062千円増加したものの、自己株式が148,328千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、税金等調整前四半期純利益394,189千円及び減価償却費102,110千円を計上したものの、法人税等の支払364,867千円、売上債権の増加204,889千円、有形固定資産の取得による支出181,206千円等により、5,244,254千円（前年同期比35.3%増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間の営業活動の結果、獲得した資金は298,999千円（前年同期比37.9%減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益394,189千円及び減価償却費102,110千円を計上したものの、売上債権が204,116千円増加し、法人税等の支払364,867千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間の投資活動の結果、支出した資金は321,645千円（前年同期は201,641千円の獲得）となりました。これは有形固定資産の売却による収入112,317千円があったものの、有形固定資産の取得による支出181,206千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間の財務活動の結果、支出した資金は356,014千円（前年同期比25.2%減）となりました。これは自己株式の取得による支出140,707千円や短期借入金の純減額100,000千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の連結業績予想に関しましては、平成24年5月14日に公表いたしました開示資料をご覧ください。

通期の連結業績予想に関しましては、平成23年11月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,522,767	5,244,254
売掛金	513,284	727,728
有価証券	100,148	100,000
商品	31,593	24,329
その他	414,950	768,283
貸倒引当金	△5,835	△67,598
流動資産合計	6,576,908	6,796,997
固定資産		
有形固定資産	695,604	216,799
無形固定資産		
のれん	7,694	5,770
その他	198,003	196,605
無形固定資産合計	205,697	202,376
投資その他の資産		
投資有価証券	673,000	717,263
その他	594,997	677,548
貸倒引当金	△42,076	△42,083
投資その他の資産合計	1,225,920	1,352,729
固定資産合計	2,127,222	1,771,905
繰延資産	253,651	235,060
資産合計	8,957,782	8,803,963
負債の部		
流動負債		
買掛金	252,561	314,868
短期借入金	1,000,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,096,538	1,438,338
未払法人税等	369,610	177,448
賞与引当金	13,308	13,103
会員引当金	100,092	125,819
支払備金	6,609	12,669
責任準備金	159,260	185,649
その他	524,791	600,471
流動負債合計	3,522,771	3,768,368
固定負債		
長期借入金	2,049,917	1,659,352
その他	548,285	587,271
固定負債合計	2,598,202	2,246,623
負債合計	6,120,973	6,014,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	3,897,123	3,752,889
売上原価	2,041,893	2,076,941
売上総利益	1,855,230	1,675,947
販売費及び一般管理費	1,468,572	1,277,071
営業利益	386,657	398,876
営業外収益		
受取利息	1,319	1,712
受取配当金	418	418
受取賃貸料	9,779	9,362
違約金収入	—	75,087
持分法による投資利益	—	7,197
その他	15,794	8,058
営業外収益合計	27,311	101,836
営業外費用		
支払利息	12,588	14,025
貸倒引当金繰入額	—	61,921
持分法による投資損失	14,002	—
保険業法第113条繰延資産償却費	32,949	40,312
その他	2,420	876
営業外費用合計	61,960	117,135
経常利益	352,008	383,576
特別利益		
固定資産売却益	120	—
投資有価証券売却益	24,202	10,612
特別利益合計	24,322	10,612
特別損失		
投資有価証券評価損	16,852	—
その他	7,183	—
特別損失合計	24,035	—
税金等調整前四半期純利益	352,295	394,189
法人税等	258,441	205,340
少数株主損益調整前四半期純利益	93,853	188,848
少数株主損失(△)	△7,574	△2,113
四半期純利益	101,428	190,961

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	93,853	188,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,375	18,661
持分法適用会社に対する持分相当額	73	△29
その他の包括利益合計	△5,302	18,632
四半期包括利益	88,551	207,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,126	209,594
少数株主に係る四半期包括利益	△7,574	△2,113

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	352,295	394,189
減価償却費	92,041	102,110
保険業法第113条繰延資産償却費	32,949	40,312
のれん償却額	3,131	1,923
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,876	61,770
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,094	△204
会員引当金の増減額(△は減少)	3,072	25,726
受取利息及び受取配当金	△1,737	△2,130
支払利息	12,588	14,025
持分法による投資損益(△は益)	14,002	△7,197
固定資産売却損益(△は益)	△2,605	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△19,632	△10,612
投資有価証券評価損益(△は益)	16,852	—
売上債権の増減額(△は増加)	△96,925	△204,116
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,740	3,153
前払費用の増減額(△は増加)	59,047	7,040
未収入金の増減額(△は増加)	34,498	△59,648
差入保証金の増減額(△は増加)	△12,540	1,426
破産更生債権等の増減額(△は増加)	174	△7
仕入債務の増減額(△は減少)	40,290	62,306
未払金の増減額(△は減少)	△36,903	97,653
前受収益の増減額(△は減少)	2,491	6,297
長期前受収益の増減額(△は減少)	58,417	63,971
その他	104,926	77,275
小計	635,724	675,267
利息及び配当金の受取額	1,503	1,581
利息の支払額	△12,429	△12,982
法人税等の支払額	△143,703	△364,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	481,094	298,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有価証券の取得による支出	△97	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△180,692	△181,206
有形固定資産の売却による収入	66,090	112,317
無形固定資産の取得による支出	△60,139	△55,633
投資有価証券の取得による支出	△20,698	△19,510
投資有価証券の売却による収入	285,206	14,754
子会社株式の取得による支出	—	△40,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	65,639	—
貸付金の回収による収入	5,364	795
保険業法第113条繰延資産の増加額	△59,030	△53,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	201,641	△321,645

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△100,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△307,998	△548,765
株式の発行による支出	△350	—
自己株式の取得による支出	—	△140,707
配当金の支払額	△67,918	△66,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	△476,266	△356,014
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	206,469	△378,661
現金及び現金同等物の期首残高	3,669,229	5,622,915
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,875,699	5,244,254

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コール センター	会 員	企業提携	加 盟 店	少額短期 保 険	自 動 車 賃 貸	計				
売上高											
外部顧客への売上高	351,829	1,407,265	1,742,840	109,336	209,828	74,109	3,895,210	1,913	3,897,123	—	3,897,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	82,506	190,101	—	144,932	—	417,540	—	417,540	△417,540	—
計	351,829	1,489,772	1,932,941	109,336	354,761	74,109	4,312,750	1,913	4,314,664	△417,540	3,897,123
セグメント利益又は損失(△)	141,383	242,005	224,417	△206,639	106,320	5,356	512,843	△120	512,723	△126,065	386,657

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シンプルセキュリティ事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△126,065千円には、セグメント間取引消去△9,722千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△116,343千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コール センター	会 員	企業提携	加 盟 店	少額短期 保 険	自 動 車 賃 貸	計				
売上高											
外部顧客への売上高	329,995	1,158,827	1,680,795	84,781	361,489	135,634	3,751,522	1,366	3,752,889	—	3,752,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,169	—	—	125,932	1,902	131,004	—	131,004	△131,004	—
計	329,995	1,161,996	1,680,795	84,781	487,421	137,536	3,882,526	1,366	3,883,893	△131,004	3,752,889
セグメント利益又は損失(△)	99,720	350,272	114,389	△155,597	103,350	13,871	526,006	△210	525,795	△126,919	398,876

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シンプルセキュリティ事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△126,919千円には、セグメント間取引消去△4,473千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△122,446千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結累計期間において「その他」に含まれていた「自動車賃貸事業」については、前連結会計年度において量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。